

洋書輸入協会会報

VOL. 19

NO. 6

(通巻218号) 昭和60年6月

理事会報告

4月26日(金)

(一) Hepworth 女史離日

British Council の Ms. Gillian M. Hepworth 女史が離日されることとなったので、送別のため5月13日昼食会を催すこととした。

(二) 東京外郵便協議会

4月17日同会の総会が開催され、会長に小林英一氏(理事長代理)が再選されたことが報告された。

(三) 出版文化国際交流会

同会に「外国出版物普及促進部会」を設け、さしあたり外国出版社の在日代表に入会を求め、将来は外国出版社を会員とし、外国出版物の巡回展示会開催などの事業を行なう計画であると、その申出のあったことが報告された。

(四) その他。

5月13日(月)

約3年の在日中JBIA会員各社と英国出版社間の連絡強化に努力され、近く離日される British Council の Gillian M. Hepworth 女史を招き、竹橋会館において送別昼食会を催した。British Council, 西田俊子女史も出席された。

5月13日(月)

(一) 4月分収支計算・予算対比表

事務局長の報告を承認した。

(二) その他。

定時総会報告

昭和60年度定時総会は、5月28日(火)午後2時より学士会館(本郷)にて開催された。正会員99社のうち、出席42社、委任状提出44社、合計86社にて総会は成立。賛助会員の出席は7社であった。

司会者、栗原氏(洋販)の開会のことばののち、昭和59年度入会の新会員、株式会社東京ブックランド、ビューロー ホソヤの2社が紹介された。

ついで理事長代理、小林英一氏(丸善)から大要次のような挨拶があった。

「昭和59年度を振り返って見ると、われわれ業界の業績は昭和58年度に比較して若干の上昇傾向が見られた。一方、海外出版社の業績は概ね前年度に比較して可成りの伸長を示したようで、多いところでは二桁の伸びが見られたとのことであった。従って、われわれ業界には海外出版社ほどの伸びは見られなかったわけである。

ご存知のように、貿易摩擦によるわが国へのクレームが多い現状の中で、われわれが扱っている商品は大いに

理事会報告..... 1	海外ニュース..... 3	来日外人名簿..... 5
定時総会報告..... 1	ニュース..... 3	総代理店ご案内..... 5
文化厚生委員会だより	Book Review No108 4	お知らせ..... 5
Forty Love 会春のキャンプ 3	海外ニュース..... 5	広告..... 6
シロギス釣..... 3		

歓迎されるべきものであり、その輸入増額につながる文教予算の枠拡大のために、協会として運動を展開して行きたい。

近來、ニューメディアの発展による文字ばなれがいわれているが、学識者はここ当分の間 Books, Journals という基本的なメディアの需要傾向に大きな変化は生じないと示唆している。われわれは顧客ニーズに裏付けされた商品を、自信を持って供給することが、需要増大のために最も肝要であると考えてる。

現在洋書輸入協会会員は125社である。業界全体の繁栄なくして個々の繁栄はあり得ないのは自明の理であり、私は先頭に立って努力する。会員の皆様方も業界の発展繁栄のためにご協力くださいんことをお願いする。」

小林理事長代理はついで理事会報告にうつり、毎月2回定例理事会を開催して、協会の運営、事業活動情況、収支決算等の検討および決裁を行った。特に昨年度は、日米文化教育会議(CULCON)での輸入書籍に関する問題、CASの取扱いに関する問題等にとりくんだこと、また西ドイツ出版社代表团、英国 ALPSP 代表団の来訪があり懇談したことを報告、詳細は会報の理事会報告および次に行われる各委員会の報告にゆずった。

ついで各委員会報告にうつり、総務(丸善・松井氏)、企画渉外(ユサコ・山川氏)、ダイレクトリー(東光堂書店・石内氏)、洋書交換(国際書房・服部氏)、雑誌(日本出版貿易・岸氏)、文教(紀伊國屋書店・吉本氏)通関(洋販・栗原氏)、文化厚生(三洋出版貿易・武田氏)、会

報(メクレンブルグ商会・鈴木氏)から、それぞれ一年間の活動状況と今後の活動方針等につき報告があった。

ついで昭和59年度決算報告が松井氏によりなされ、佐野氏(南江堂)、山縣氏(内外交易)の監査報告ののち、可決承認された。

ついで関西支部報告および同決算報告が丹羽氏(緑書房)によりなされ、可決承認された。

ついで、松井氏から昭和60年度予算案が提案され、また丹羽氏から関西支部昭和60年度予算案が提案され、いづれも可決承認された。

以上の議事が終了したのち、吉本氏が閉会の挨拶にたち、

「協会発足以来40年、協会の在り方についてご意見、ご希望があったのが、協会財政の縮少均衡にしろ、積極財政にしろ、どうすれば有力な協会になり得るか、文化的また最新の科学技術に関する商品を扱っている業界として、斬新な発想で検討したい。しかし、無競争では進歩がないので、競争すべきところは競争し、協調すべきところは協調して、会員個々の繁栄と協会の活性化を考えたい。そのためには、輸入品ばかりでなく、業界に関連する周辺分野の商品も、われわれ会員が手掛けて行かなければ協会の発展もないし、延いては共存共栄も覚束ないと思う。」旨を述べ、総会をとじた。

4時30分より恒例の懇親パーティにうつり、インターナショナル トムソン ブックス、井並さんの音頭による乾盃で宴を開き歓談のひとつきをすごした。



Forty Love 会春のキャンプ

Forty Love 会恒例の春の合宿が5月連休直後の週末を使って実行された。

会場は山中湖畔の「ロッヂ 花月園」。三省堂さんのコネがあるとか、恐らくは無理矢理とったであろうコートは合成サーフェイスならではの三色のハデやかさ。宿（シュクと読んで下さい）は最高。新緑の林に点在するロッヂは一棟当り4・5人の宿泊用、一昔前なら立派に文化住宅と広告出来る程。バス、トイレは勿論、お皿、鍋付きのキッチンとダイニング、寝室は和洋各一室。肌寒い5月にはストーブも燃えるしかけ。

眼目のテニスは土曜は9時から5時までと8時間勤務、バーベキューの夕食はもう飲み放題、翌日曜も本人次第で7時から夕方5時までと早出、超勤も可能。インストラクターによるレッスンも、ゲームも、団体戦もとメニューも豊富。

一泊朝食のみテニス2時間で約一万円というHotelのバックと較べたら、この会は大特価の会費一万三千円、いかにもサービス過剰のこの業界の催しらしくいつもながら価格以上のこのキャンプ、20数社28名のテニス好きには大歓迎でした。

シロギス釣

5月18日、今日が楽しみで夕べよく眠れなかったという中央洋書の前橋さん、毎回必ず1～2位の賞品を持っていく賞品ドロボー（失礼）のテクニコンの楯さん、丸善OBの富田さん、釣りは20年振りという光洋書の吉兼さん、その他常連で総勢15名。例年のごとく小田急江の島駅前の船宿幸次郎丸に集合、空も晴れ釣りには絶好の天気と思っていたところ、今日は午後から南風が強くなるので昼頃までの早上りになるとの船宿の主人のご託宣に一寸がっかり。

8時の出船がや、おくれ釣場に着いたのが9時近く、すでに波のうねりがや、高くなって来ており餌をつけるのもどかしく仕掛けを投げ込みました。その後2～3回場所を変えて1時近く、うねりも大きくなり釣りづらくなったので1時納竿、横波を頭からかぶりながら無事港に帰りました。成績は総勢15名でシロギス95尾、メゴチ多数、順位は

- | | | | |
|----|-------|-----|-----|
| 1位 | 日ソ図書 | 齊藤氏 | 18尾 |
| 2位 | テクニコン | 楯氏 | 18尾 |
| 3位 | 洋販 | 今井氏 | 13尾 |

でした。

次回は、秋に鰯を釣る予定。

(MT 記)

海外ニュース

「Xerox Corp. 出版部門を売却」

ゼロックスは、UM, Bowker などその子会社出版部門6社を総額約1,200億円でGulf+WesternやInternational Thomson Organization 他に売却する旨発表した。これら出版部門は、1960年代の多角化路線のもとで買収したもので、いずれもこの10年優良会社としての実績を持っている。しかし、今後、厳しい出版産業において競争力を維持しつづけるにはこれまで以上に出版部門への資金投入が必要となり、これは必然的にゼロックスの複写機メーカーとしての基本路線に戻るという戦略と一致しないことを売却の理由としている。手放される6部門は下記の通り。（ ）内は売却先。

University Microfilm, R.R. Bowker, AutEx System
(International Thomson Organization)

Ginn & Co (Gulf+Western)

Xerox Education Publications (Field Corp)

Xerox Learning Systems (Times Mirror Corp.)

(Publishers Weekly 5月3日号から)

—(株)紀伊國屋書店提供—

ニュース

5月13日(月)午後6時30分から8時30分まで、British Council 主催のHepworth 女史送別のためのパーティがBritish Council でひらかれた。会員多数も参加し、盛会であった。

田中克彦・H. ハールマン
「現代ヨーロッパの言語」(岩波新書)

¥430 1985年2月

本書は西ドイツの言語学者の資料を用い、アジアの言語の専門家がその立場で書いた本である。そういう意味では共同著作であり、従ってふたりの共著となっている。

「主要ヨーロッパ語と、それを話すヨーロッパ人による世界の支配は、アメリカ、アフリカ、アジアなどの非ヨーロッパ地域においておこなわれただけではなく、ヨーロッパそのものの内部においても演じられてきた。」(p. 4)「言語からみたヨーロッパの特色は、……数個の独占の大言語にあるのではなく、むしろ知られることの少ない小さな言語が、それぞれの国家によって高い価値を与えられ維持されているという……ことの中に見出すことができる。」(p.10)いわゆる言語学が話し手や社会からきり離れたそれ自体としての言葉の内部構造に普遍性を見出そうとしてきたのに対して、言葉を社会にもどし、歴史、文化、政治などの動きの中で言語がどう変ったかを検討しようとするのが、著者の立場であろう。

「はじめに」につづいて「第1部 言語からみたヨーロッパ」では、「II 近代ヨーロッパ諸語の起源」の「国家・母語・公用語」の項には、ヨーロッパ諸国家の母語と公用語とのリストがある。ベルギーの公用語は母語と同じくオランダ語、フランス語、ドイツ語であり、ルクセンブルクの母語はルクセンブルク語(レツェブルギッシュ Letzeburgisch)だけであるのに、公用語としてはその他に標準のドイツ語とフランス語とがあげられている。ソ連邦のヨーロッパ部の公用語・準公用語は17にのぼる。第2部は「現代ヨーロッパ諸言語

概観」であり、約100ページにわたって「ヨーロッパに現存する67種の言語が概観されているが、その方法は、従来の「言語概説」がおこなってきた方法とは、いちじるしく異なっている。」「とりあげる順序は、系統分類という言語に内在的な原理をまったく無視し、話し手の多いものから少ない順へすむ。」(p.90)従って1億人以上が母語とするロシア語がトップで、以下独・英・伊・仏・ウクライナ・ポーランド語とつづき、67番目のマクス・ゲーリク語(話し手は200人、ブリテン島とアイルランド島の間のマン島の言語)で終る。言語の自立にとって聖書や教理問答集などの翻訳出版が大きな意義をもっていたことがわかる。多民族国家であるソ連邦が独自の民族・言語政策で多くの言語を育成してきたこともわかる。付表1には「ヨーロッパ言語とそれを母語とする者の数」が示されている。ここには「現在ヨーロッパで話されている68の言語を、その話し手の数の多い順に番号をつけて並べ」(p.198)である。68番目はコーンウォール語(イギリス)で話し手は150人である。付表2は「ヨーロッパ諸言語の系統分類」である。

「はじめに」に「私たちはアジア人ではあるが、アジアの近隣の言語よりは、ヨーロッパの言語の方にはるかに大きな関心を寄せ、また具体的な知識を持っている。」ヨーロッパ語を知っていて、「なお近隣のアジア語のどれか一つでも知っている人を見出すことはきわめて困難である」(p. 3)事実が指摘されている。洋書を扱うわれわれもほとんど例外ではなкаろうと思う。

(M.I.)

JBIA DIRECTORY 1985

(洋書輸入協会ダイレクトリー 1985年版)

25.8×18.2cm 302頁 一般価格 4,000円(送料共)

会員価格 2,000円(")

海外ニュース

「ブック・クラブと通信販売に関するギャラップ調査」

書籍購入に関するギャラップ調査によれば、1984年の書籍購入総点数のうち、ブック・クラブを通じての購入が7%、通信販売（ブック・クラブを除く）を通じての購入が6%、合計13%を占める。各々の購入方法は互に似ているが、その利用者（購入者）のプロフィールには明らかに違いが見られる。

通信販売の利用者は、35才以上、年収3万ドル以上、学歴は高卒以下の男子が多く、対照的にブック・クラブ利用者には、25～34才、年収3万ドル以下の女性が多い。

予想されることであるが、ブック・クラブ又は通信販売を通じて購入される書籍は、ペーパーカバーよりもハードカバー本が多い。1984年の全購入書籍のうち、ハードカバーが36%を占めたが、通信販売では10冊に6.2冊、ブック・クラブでは10冊に7.3冊がハードカバーとなっている。

通信販売で購入される書籍は、全書籍平均価格よりも高額なものが多く、ブック・クラブで購入されるものと比べると一層高額となる傾向を示している。通信販売のペーパーバックの平均価格は\$6.07、ブック・クラブの平均価格は\$4.44、同様にハードカバーも通信販売が\$15.77とブック・クラブのハードカバー平均\$12.14よりも高くなっている。

(Publishers Weekly 3月29日号から)

—(株)紀伊國屋書店提供—

来日外国人名簿

4月中旬 Mr. Malik Lechelt, Sales & Promotion Manager,

Georg Theime Verlag (F.R. Germany)

" Miss P. Naylor, IRL Press (U.K.)

4月下旬 Mr. Van Eysinga, President

Mr. S.D. Dissel, Director, Int'l Sales & Marketing, Kluwer Academic Press (Netherlands)

5月下旬 Mr. Amrit Sharma, Sales Executive,
UBS Publishers' Distributors Ltd. (India)
" Mr. Amanda Halmsted, Croom Helm, Ltd.
(U.K.)

総代理店ご案内

三洋出版貿易 (株) ☎(03)669-3761

Journal of Protective Coatings & Linings
(SSPC., U.S.A.)

Monthly (航空便) ¥16,500

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎(03)291-4541

Library Association Publishing Ltd, (U.K.)

.....All books

University College Cardiff Press (U.K.)...All books

次の出版社の代表業務を停止いたしました。

Avebury Publishing Co.

Ian Allan Ltd.

International University Press, Inc.

Hermann

お知らせ

次のとおり訂正通知がありましたのでお知らせします。お手もとのダイレクトリーを訂正願います。

JBIA DIRECTORY 1985 57ページ

ユサコ株式会社 大阪営業所

電話番号:

正・(06)344-6624

誤・(06)341-5291



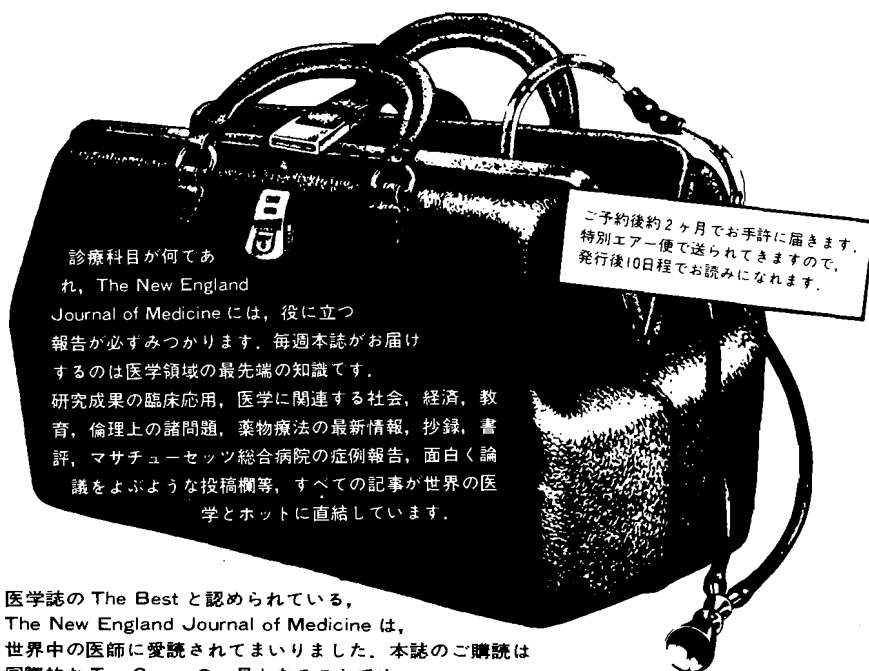
The New England Journal of Medicine

Established in 1812 as The NEW ENGLAND JOURNAL OF MEDICINE AND SURGERY

いってみれば **医師の義務** のひとつ

“The New England Journal of Medicine”

をお読み下さい!!



診療科目が何であ
れ、The New England
Journal of Medicine には、役に立つ
報告が必ずみつかります。毎週本誌がお届け
するのは医学領域の最先端の知識です。
研究成果の臨床応用、医学に関連する社会、経済、教
育、倫理上の諸問題、薬物療法の最新情報、抄録、書
評、マサチューセッツ総合病院の症例報告、面白く論
議をよぶような投稿欄等、すべての記事が世界の医
学とホットに直結しています。

医学誌の The Best と認められている、
The New England Journal of Medicine は、
世界中の医師に愛読されてまいりました。本誌のご購読は
国際的な Top Group の一員となることです。

★週刊 1985 (Vol.312 - 313)

★購読価格 1年間 ¥27,000 2年間 ¥52,200 3年間 ¥77,400

(レジデント、及び学生価格があります。詳細は弊社洋雑誌係までお問い合わせ下さい。)

(NEJM 専用バインダー 〈1年分〉 ¥8,600)

日本総代理店 (株)南江堂洋書部

本店 東京都文京区本郷3-42-6 電話 (03)811-9957
支店 京都市中京区寺町通御池南 電話 (075)221-7841

昭和60年6月

通巻218号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103

東京都中央区日本橋1丁目20番3号 蓋沢ビル603号室

☎ 271-6901

☎ 530

関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル

☎ 371-5329